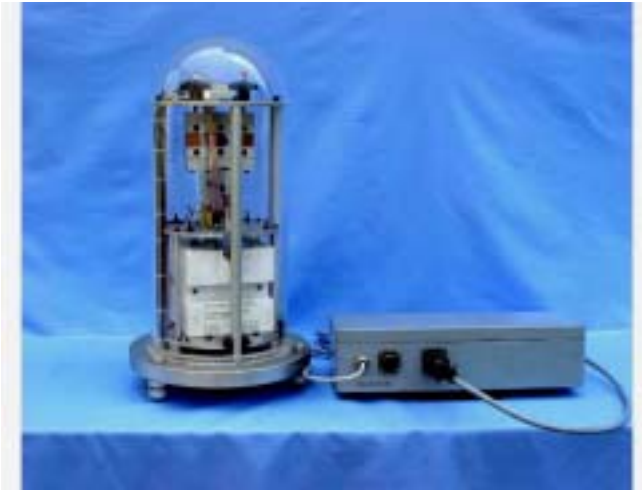


# DIGITRONIX

## 傾斜補正式3軸フラックスゲート磁力計

DMI-FGE-91-C

### 概要



傾斜補正式3軸フラックスゲート磁力計  
検出器、コンソール

FGE-91傾斜補正式3軸フラックスゲート磁力計は、地磁気三軸成分を測定し、夫々をアナログ信号で出力する観測装置です。そして、その設置場所の基礎が不安定な場所や、長期間の連続測定などのために本装置は、特に基準ベースラインの安定度が、重要な要素となる観測に用いられるよう、設計製作されております。また、特に温度変化による影響、三軸の直交性などのパラメータが少なく、測定性能は向上され、安定した観測に適した装置であります。

本装置の測定安定度は通常、年間で2～3nT以内と、大へん優れており、定点、或いは移動観測にも信頼性の高いデータが、連続して取得されます。

また、基準ベースラインの安定性を高めるための、サスペンション方式（傾斜補正式）のほか、固定式の検出器も用意されています。従って固定式、又は、傾斜補正式の2種の検出器を観測の行われる場所、設置条件に従って選ぶ事で、最適な地磁気3成分観測が行われます。

### 特長

FGE-91傾斜補正式3軸フラックスゲート磁力計は、長期間の連続観測での安定性を得るために、下記の特長が含まれております。



傾斜補正は、2本の非磁性金属線により検出部を吊り下げること、安定に行われます。

磁気検出器の基準台枠は、高品質大理石を精密加工されたものが、用いられています。

3軸の各磁気検出器は、この基準台枠に特殊な処理により装着されています。

水晶発振子回路による補正コイルの働きにより、温度変化に対する安定が向上されている。

主電子回路ユニットは、非磁性が考慮されており、検出器に近付けなければ全く影響がない。

室内の温度コントロールにより温度ドリフトが最少抑えられるデジタル制御方式による磁場補正。



未来の計測技術を追求する

**国際電子工業株式会社**

営業・技術：東京都八王子市散田町5丁目6番16号  
TEL:0426-61-7981 FAX:0426-61-8533 Email:kokusaidenshi@aol.com

取扱代理店

2002.4

# DIGITRONIX

## 傾斜補正式3軸フラックスゲート磁力計



FGE-91 検出部



FGE-91 固定式

### 仕様

傾斜補正方式 : 非磁性金属線による検出器吊り下げ  
傾斜補正範囲 :  $\pm 0.5^\circ$  以内  
磁場補正量 :  $\pm 64,000$  nT / 150 nTステップ  
アナログ出力 :  $\pm 10$  V  
ダイナミック幅 : 御注文時の指示による  
分解能 : 0.1 nT  
検出軸間誤差 :  $< 2$  mrad  
長期間ドリフト :  $< 3$  nT / 年  
検出器温度影響 :  $< 0.2$  nT /  
電子回路温度影響 :  $< 0.1$  nT /  
温度検出器 : 検出部及び電子回路部に各1系統  
温度検出器分解能 : 0.1  
バンド幅 : DC ~ 1 Hz  
検出部寸法 : 250 × 250 × 550 mm  
検出部重量 : 20.0 Kg  
電子回路部寸法 : 90 × 160 × 350 mm  
電子回路部重量 : 3.0 Kg  
入力電源 : AC 220 V, 2 Watt  
動作温度 : 0 ~ +60

### オプション

外部電池による動作方式

上記の仕様は、機器改良などの理由により予告なく変更することがあります。



未来の計測技術を追求する

**国際電子工業株式会社**

営業・技術: 東京都八王子市散田町5丁目6番16号  
TEL: 0426-61-7981 FAX: 0426-61-8533 Email: kokusaidenshi@aol.com

取扱代理店

2002.4